

目指す姿

当社グループは、将来にわたって持続的に成長し、持続可能な社会の実現に貢献するため、2030年に向けた「目指す姿」と「戦略の指針」を示すことを目的に、2021年度に長期ビジョン「日清オイリオグループビジョン2030（以下、ビジョン2030）」を策定しました。当社グループが注力すべき6つの重点領域（マテリアリティ）を定め、重点領域における課題解決を通じた社会との共有価値の創造（CSV）を成長ドライバーとし、「グローバルトップレベルの油脂ソリューション企業」に飛躍することを目指しています。「ビジョン2030」の戦略に沿って2025年から遂行している中期経営計画「Value UpX」では、CSVと事業戦略の一体化を一層強めることでCSV経営を深化させ、多様な価値創造ストーリーを描き出すことで、次なる成長を目指しています。

2021年度

2024年度

2030年度

日清オイリオグループビジョン2030

目指す姿 “生きるエネルギー”をすべての人に

私たちは、“植物のチカラ[®]”と“油脂をさらに究めた強み”で、食の新たな機能を生み出すプラットフォームの役割を担います。
そして多様な価値を創造し、“生きるエネルギー”をすべての人にお届けする企業グループになります。

- 私たちのコアコンピタンスは「油脂」です。油脂を究め続けることで、共創による油脂ソリューションを創出し続けます。
- 油脂の価値は、人が生きるための根源的なエネルギーであり、また、おいしい食事で人を笑顔に、栄養機能で人を健康に、美を演出し活力を与える無限のエネルギーでもあります。
- 6つの重点領域を通じて私たちが提供する油脂の多様な価値、そして油脂と相乗効果を発揮する素材・技術・事業から生み出されるエネルギーを“生きるエネルギー”と位置づけました。
- 私たちが目指すのは、この“生きるエネルギー”を一人でも多くの人にお届けする、そのような企業グループになることです。

重点領域

 P.11

すべての人の健康

おいしさ、美のある
豊かな生活食のバリューチェーン
への貢献信頼でつながる
サプライチェーン

地球環境

人材マネジメント

グローバルトップレベルの油脂ソリューション企業への飛躍

経営目標

2030年度

ROE **10**% ROIC **7**%

次
なる
成
長
へ

中期経営計画(2017-2020年度)
「Oillio Value Up 2020」

中期経営計画(2021-2024年度)
「Value Up +」

中期経営計画(2025-2028年度)
「Value UpX」 

重点領域（マテリアリティ）

当社グループは「ビジョン2030」で目指す姿の実現に向け、注力すべき6つの重点領域（マテリアリティ）を定めています。6つの重点領域ごとに設定したCSV目標を達成することで、当社グループの持続的な成長と社会の持続的な発展を実現し、「生きるエネルギー」をすべての人にお届けする企業グループになります。

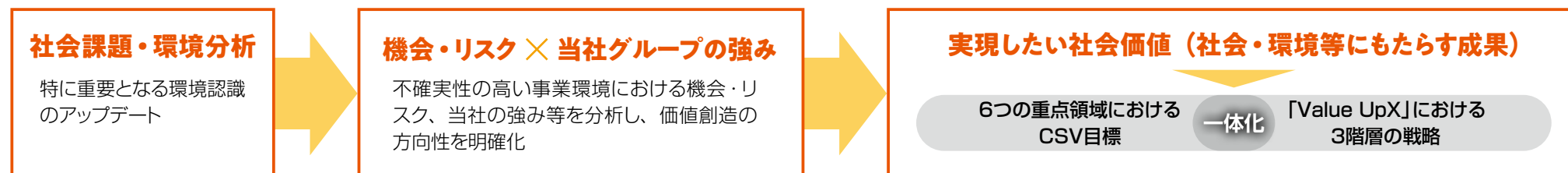


CSV目標設定の考え方

中期経営計画「Value UpX」の策定に合わせて、2025年度以降のCSV目標を見直しました [統合報告書2025 P.20](#)。2030年およびそれ以降を見据えた社会課題・環境分析をもとに、「強みを活かしてできること・すべきこと」は何かという視点もふまえ、当社グループの企業活動が最終的に社会や環境、経済にもたらす成果（社会価値）からのバックキャストでCSV目標を再設定しました。

重点領域ごとに、「実現したい社会価値」とその社会価値を生み出すために当社グループ

が実現すべき「事業活動の成果（経済価値）」という二つの要素を再整理し、特に「すべての人の健康」「おいしさ、美のある豊かな生活」「食のバリューチェーンへの貢献」については、「Value UpX」期間における成長牽引領域と位置づけました [P.12](#)。これまで以上に事業戦略とCSV目標を強く一体化することで、当社グループが目指す社会価値と経済価値をとともに実現していきます。



CSV目標達成に向けて

「ビジョン2030」で定めた6つの重点領域においてCSV目標を設定しています。また、中期経営計画「Value UpX」では、CSV目標達成に向けた具体的な打ち手を包括的・戦略的に体系化し、強力に推進しています。特に、成長牽引領域と位置づけた3領域においては、事業戦略と一体化した施策を展開しています。

		■ グローバル油脂・加工油脂 ■ 油脂・油糧および加工食品・素材 ■ ファインケミカル		
重点領域	CSV目標（2028年度目標・一部抜粋）	打ち手の例		セグメント
成長牽引領域	すべての人の健康	油脂、脂質、たんぱく質での健康エビデンス取得		■
		活力のある健康的な生活に貢献する新商品や技術の開発	■ ■	
		サブリのオイル、MCTオイル等の高付加価値商品の販売強化		■
	おいしさ・美のある豊かな生活	ホームユース領域における潜在的ニーズ発掘型、社会課題解決型商品の上市		■
		ウェルネス食品領域における進化・強化商品の上市、市場創造につながる商品の開発		■
		スペシャルティオイルと新規エステル合成技術の開発		■
成長牽引領域	食のバリューチェーンへの貢献	東南アジアにおける新規顧客の獲得強化、スペシャルティオイルの販売重量拡大		■
		チョコレート用油脂の生産能力の増強と付加価値の高い機能性チョコレート用油脂の開発	■	
		チョコレート用油脂の販売数量拡大	■ ■	
		北米における拠点獲得	■	
		営業スタイル変革を起点とした生産・物流プロセス変革の推進		■
		安定した収益獲得に向けた投下資本の効率化（アイテム数、需給乖離率、在庫日数等）		■
成長牽引領域	信頼でつながるサプライチェーン	市場ニーズに対応する新たなバリューアップコア素材*商品の上市と実績化		■
		サプライヤー情報の一元管理の仕組み構築	■ ■ ■	
		パーム油認証油、SG認証油比率向上	■ ■ ■	
		国や地域の実情に応じた人権DDの仕組みの海外子会社への適切な展開	■ ■ ■	
		国内生産拠点別構内平均拘束時間の短縮		■ ■
成長牽引領域	地球環境	国内・国外生産拠点毎のCO ₂ 排出量削減、HYDROGEN READYに向けた施策実施	■ ■ ■	
		プラスチック資源循環の実装化に向けた社会インフラ整備と行動変容への意識醸成		■
		環境にポジティブインパクトを与える商品・サービスの開発・提案強化		■ ■
成長牽引領域	人材マネジメント	グローバル事業拡大を支える人材や次世代経営人材等の戦略の核となる人材基盤の強化	■ ■ ■	
		デジタル人材の育成強化につながる研修の実施	■ ■ ■	
		挑戦機会の拡充（ジョブチャレンジ制度、グローバル人材登録制度、新規ビジネス創出プロジェクト等）	■ ■ ■	

※機能性油脂・油剤から改称

中期経営計画「Value UpX」

「ビジョン2030」で目指す姿の実現に向けた具体的な成長戦略として、2025年度から中期経営計画「Value UpX」を推進しています。「Value UpX」では戦略を3階層化し、戦略の実現を支える4つの機能（研究開発、デジタル・IT、サプライチェーン、サステナビリティ）を強化、さらにそれらの土台となる強固でレジリエントな人材基盤を構築し、戦略の実効性を高めていきます。また、ROICマネジメントを通して、資本収益性向上とさらなる成長投資への好循環を実現していきます。

日清オイリオグループ ビジョン2030 P.10

2025-2028年度

中期経営計画「Value UpX」

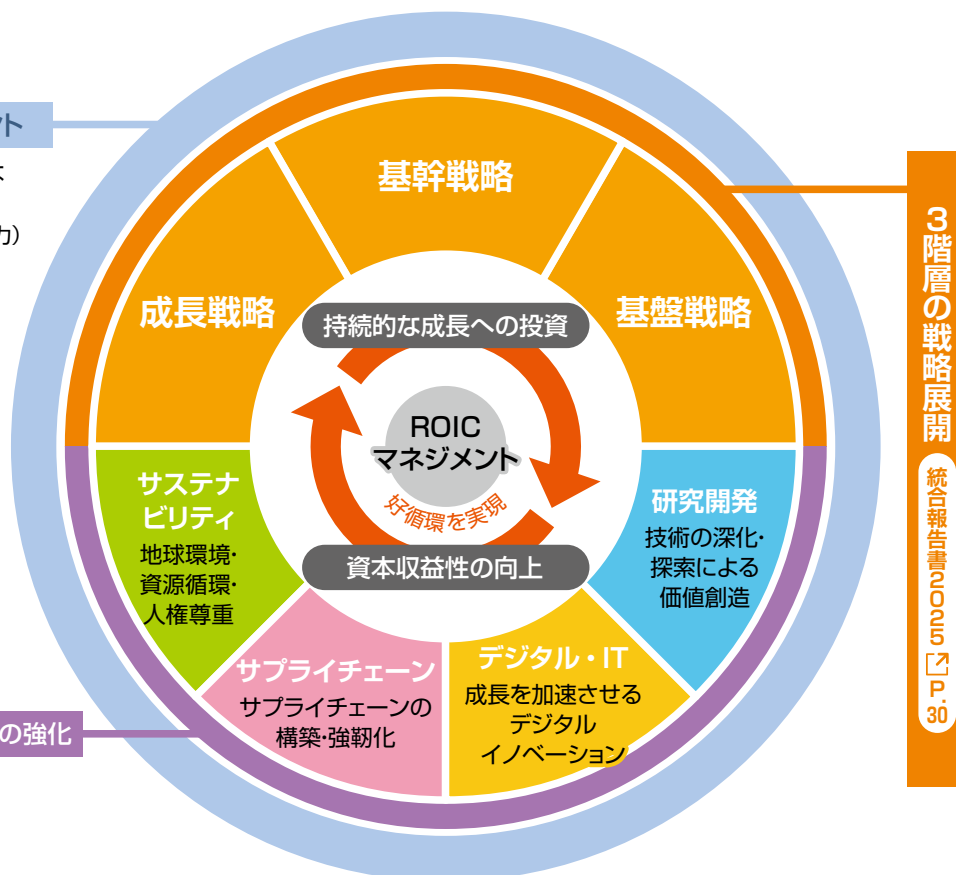
経営目標
(2028年度)

営業利益 **280** 億円
ROE **8** %以上
ROIC **6** %以上

戦略の全体像

人材マネジメント

強固でレジリエントな
人材基盤の構築
(持続性と成長の原動力)

P.30

戦略を支える機能の強化

P.32

各セグメントの実績と目標

		2025 実績	2026 予想	2028 目標*
グローバル油脂・ 加工油脂 P.23	ROIC	6.1%	6.8%	8.0%
	営業利益	47 億円	69 億円	81 億円
油脂・油糧および 加工食品・素材 P.25	ROIC	4.3%	3.5%	5.5%
	営業利益	111 億円	106 億円	184 億円
ファインケミカル P.28	ROIC	10.0%	11.0%	12.0%
	営業利益	15 億円	18 億円	21 億円
その他・調整	営業利益	△4 億円	△3 億円	△6 億円

*2028年度目標は「Value UpX」策定時点の数値